



白川風土記
刈越郡
五

JL 4
317
5



呂 317
門 卷 八

白川風土記卷之十九

越後國之部之五

羽郡鯖石庄北條郷

長島村

柏崎陣屋ヨリ東方三里二十五丁三ノ村長

ノ東西十五丁南北三十二丁ノ内ニ小村十二ヶ

所ニ家屋ノ中村ト云処其中央程山餘十一ヶ村

ノ方角丁數八ヶ村ヲ根元ト云ル中村戸數二十

二軒是ヨリ申ノ方四丁斗山木戸數二十九軒

又未ノ方三丁斗浦村戸數十五軒又寅ノ方四



丁斗二花田戸教二十四軒又辰ノ方三丁斗二竹
 之下戸教十六軒又卯ノ方十三丁斗二岩野入戸
 教七十五軒又寅ノ方十五丁斗二大角間戸教六
 十五軒又子ノ方十一丁斗二市野口戸教廿七軒
 又子ノ方十二丁斗二市野口戸教十四軒又亥ノ
 方十丁斗二峠戸教十五軒又子ノ方廿丁斗二夏
 渡戸教二十七軒又子ノ方三十丁斗二鷹巣戸教
 廿八軒合テ戸教三百五十七軒何レモ向背ヒト
 シカテ是ヲ總テ長島村ト云四至ハ東御料所
 塚野山村ノ一里半西ハ矢田村吉井村ノ一里南



御料所廣田村ノ十丁北ハ御料所成沢村ノ十
 八丁在リ且モ地界入交リ分明ナク又貞治年間
 越后國一統上枚左近將監憲榮以領タリニ旗
 下毛利丹後守公北條村ノ城主ナリヒカ其時毛
 利家ニ秋田發セシ所ト云毛利氏廢亡ニテヨリ
 上枚家ノ本領トシ慶長三年景勝封テ奥州会
 津ニ移ルルヨリ豊臣家ノ豫地有テ堀久太郎
 秀治ノ領トシ其時同十五年ヨリ越后ヲ將忠輝卿
 ノ領元和二年ヨリ其牧野駿河守領同三年ヨリ松
 平伊豫守領寛永元年ヨリ松平越后守領天和元

年ヨリ御料所負享三年ヨリ縮桑丹後守領之祿
十四年ヨリ又御料所正應元年ヨリ当領ト十八
当村ハ魚沼郡長岡十日町等ノ街道也
高札場一ヶ所 中村ニアリ
官ヨリ令セラルル処ノ控條目ヲ掲埃ト與他ニ
塩水井戸
岩野入ニアリ 往古弘法大師ヲ加持ニヨリ湧
出ルト云フイカナル冷天ニテ酒飲ミナシ
ニ味最モ佳ナリ民家常々塩ニカフヲ用テ素
事久世前田林ノ中ニ其ノ内探前田林ノ中

温泉

花田ニアリ至テ又ルリ今浴スル人ナクハ其
効験ヲシラスト云

郷藏一ヶ所

中村ニアリ事ハ曾地村郷藏ノ次第ニ同シ
熱田社 社地東西三十間 村支配

山本ニアリ祭ハ四月朔日

社小初ナリ

鳥居ニ高九一丈五尺幅九尺

石勤社 社地東西七間 南北十間

浦村ニアリ祭ハ八月二十四日

社 石ノ小祠ナリ

白山社 社地東西七間
南北十五間

村支配

中村ニアリ祭ハ八月十六日

社 九尺四方

若宮社 社地東西四間
南北六間

同上

花田ニアリ祭ハ八月朔日

社 小祠ナリ

十二神社 社地東西五間
南北七間

同上

竹ノ下ニアリ祭ハ三月十三日

社 小祠ナリ

熊野社 社地東西十四間
南北六間

同上

岩ノ入ニアリ祭ハ三月十日

社 小祠ナリ

八幡宮 社地東西十三間
南北九間

同上

大角間ニアリ祭ハ三月十五日

社 二間ニ九尺

鳥居 高サ一丈一尺巾九尺
祭ハ四月八日

五社明神社 社地東西七間
南北七間

同上

枚ノ入ニアリ祭ハ三月十四日

社 小初ナリ

十二神社社地二

村支配

味ニアリ薬師堂境内ノ縁ニアリ祭ハ四月八日

社 石山小初ナリ

甄訪社社地東西八間 同上

夏渡ニアリ祭ハ三月二十七日

社 石山小初ナリ

諏訪社社地東西五間 同上

鷹巣ニアリ祭ハ三月十八日

社 小初ナリ

佛運動

阿弥陀堂

境内東西十間

同上

山本ニアリ縁日正月十五日

堂 三間三尺三二間四尺本尊石勤立像長八寸三

尺五寸表

阿弥陀堂

境内六

同上

大角間ニアリ縁日二月十五日

堂 二間三尺三二間本尊木佛立像長八寸一

地藏堂

境内東西八間

同上

大角間ノ南ノ方ニアリ縁日三月廿四日

堂 二間三尺三二間本尊木佛座像長八寸五

分

藥師堂

境内二十
二間四方

三月村支配

味 = アリ 縁日 四月八日

堂 三間三尺 = 三間本尊木佛立像長一尺一
寸五分

觀音堂

境内五
間四方

同上

鷹巣ノ東一丁斗 = アリ 縁日 三月十八日

堂 三間三尺 = 二間本尊木佛座像長九寸五

分

能満寺

境内東西十二間
南北十五間

松ノ入ノ家居ノ東ノ方ニアリ 禪宗ナリ 山号ナ

長昌山ト云 文明元己丑年臨濟天菴長苑ノ開基

ナリトシ 其後天文元丙辰年ニ曹洞宗ノ僧仙菴

再興ス夫曰ク今ニ至ヒリ本寺ハ同郡所科所善

根村ノ淨慶寺也

客殿 七間三尺 = 九間三尺 萱葺本尊虚空藏善

薩木佛座像長一尺

庫裏 三間三尺 茅葺 本林ノ善照寺ナ

門前ニ軒 縁日ニ云 永長ニ年甲寅吉蘇ナ

眞珠院

境内東西二十間 三尺 = 山号ナ
南北十五間

山本ノ家居ノ西ノ方ニアリ真言宗ニテ山寺ヲ
妙廣山寺号ヲ延命寺ト云永享六年甲寅法藏ト
云僧ノ開基ナリ本寺ハ同郡寺尾村ノ善照寺ナ
リ

文殿 六間三尺ニ八間三尺萱葺本尊延命地藏

菩薩木佛座像長ケ一尺三寸

庫裡 四間ニ十一間三尺萱葺

末宝院 境内東西九間南北十間

跡ヨリ当山派ノ修験ナリ寛永五年仁学開基

此ハ山伏宗師ニ上リ三宝院宮ニ請テ今ハ院号

ヲ許サレキ齋頭ハ同郡中田村ノ高正院也

家宅 三間ニ五間本尊不動尊木佛立像長ケ一

尺

熊野権現八枚ノ古木ヲ神体ト崇メ祭り社ナリ

社地東西九間南北五間ニテ來宝院カ境内ト

混シテケリ

巖 約脊ノ松一枚年間上秋家ノ旗下北條村ノ

能満寺

免除地

真珠院

十四年迄ノ領主長島村ニ同シ元禄十四年ヨリ
戸田能登守領トシ八二位元年ヨリ当領トシ八

高津川

村ヨリ北ノ方十丁斗ニアリ山ノ溪々ヨリ出ル
處ノ小川ナリ

温泉

一ヶ所是東ノ内探取蓋田味ノ二
村ヨリ民ノ方ノ山間ニアリ何ノ病ニ驗ニアリ
外云事モナキニヤ今廢レテ浴々へ人モナシト
云

橋三ヶ所

字カウノ橋字宮ノ下橋共ニ長ハ四間三尺巾四
尺字廣兼橋長ハ四間巾四尺三ヶ所共ニ村内ヲ
流北ノ山沢ヨリ出へ所ノ小川ニ架ス村内往返
ノ通用橋ナリ
田舎ノ橋五ヶ所
村四方ノ耕地ノ字竹ノ花ノ荒城ニ入橋ヲ前
マカリノ字オノ田下ニ五ヶ所ニアリ小ナキ板橋
ナリ
村ヨリ北ノ方十丁斗高津川ヲ中十間三尺斗

三堰タル之ヲ次郎丸堰ト云餘ノ二ヶ所ハ田所
ノ細流ヲ堰リ一ヶ所ハ字ワリテ田今一ヶ所ハ
字ヨシミワト云共ニ当村ノ用水堰也

溜三ヶ所

字ドウシ溜ハ村ヨリ已ノ方十丁斗ニアリ字鼠
田溜字古山平ト云小サキ溜二ヶ所ニアリ

八幡宮

社地東西十間
南北十五間

村支配

村内ニアリ祭ハ九月十五日

社ニ九尺ニ七尺

社地東西十二間
南北七間

丑酉社

村内ニアリ祭ハ九月九日
社ニ九尺ニ六尺

能天寺

社地東西十間
南北七間

村内ニアリ祭ハ九月十九日

社ニ九尺ニ六尺

社地東西八間
南北十三間

村内ニアリ祭ハ九月十日

社ニ六尺ニ七尺

社地東西八間
南北十三間

社地東西八間
南北十三間

天正
三石
同

一ヶ所ノ間
文ノ今

ヶ所ハ東西八十間 今一ヶ所ハ東西八間ノ境内
南北八間

虚云藏堂 境内東西十間 南北八間 村支配

村内ニアリ録日三月十三日

堂 六尺四方本尊木佛立像長ケ一尺

念佛寺 境内東西廿間 南北十五間

清大天々
村内ニアリ天台宗ナリ帰命山無量院ト云天正
十五年辛亥清上人ノ開基ト云江府東叡山ノ末
寺也

本堂 五間三尺ニ三間三尺萱葺本尊阿原院如

来木佛立像長ケ二尺一寸清上人ノ作
門前 一軒

文珠院 境内東西八間 南北六間

村内ニアリ当山派ノ修験ナリ明王院ノ開基ト

云ニ傳レレト年代詳ナラス其後元和元年ニ至
テ仙鏡ト云修験再興ノ時宗師ニ登リ三空院宮
ハ清ニ今ノ院号ヲ許サレシト云觸頭ハ同郡中
田村ハ高正院也

院家 三間四二間一尺本尊不動尊木佛立像長

新一天四寸水邊御長島岡ノ尺沃ヨリ土ノ故

深山権現社 三間 = 二間一尺

産物

松 萩 蕨 柏 背

免除地

八幡宮 五雲社 春日社 念佛寺 文珠院

阿弥陀堂三ヶ所 虚空藏堂

前二五雲社
今五雲社ト入信
カミトラスカ
カミトラスカ

林内... 阿弥陀堂... 虚空藏堂... 念佛寺... 文珠院... 阿弥陀堂... 虚空藏堂... 念佛寺... 文珠院... 阿弥陀堂... 虚空藏堂... 念佛寺... 文珠院...

林内 刈羽郡 鯖石庄 北條郷 長島川

小嶋村 拉端 久野崎 小種

柏崎陣屋 日方 寅卯ノ方 二里三十丁 = 下ノ村大

一丁四方ハナリ
新カ今カ

一丁四方 后敷 十軒 向脊 七カ之ノ 西至

東ハ 御領所 廣田村 一里 西ハ 安反内 藏助 知行

所 平井村 一里 南ハ 北條村 八丁 北ハ 山澗村

ハ 十丁 斗地 界ノ 上ノ 入交 不令 明領 主 林

長島川

村内ヲ 流ル 水源ハ 長島村ノ 山沢ヨリ 出ル 故ニ

小橋

村ヨリ西ノ方二丁斗ニアリ山沢ヨリ出ル所ノ
小川ニ架ス長廿九尺巾六尺魚沼郡ノ往來ノ橋
ナリ
宗政橋 牛ヶ窪橋
村ヨリ西ノ方一丁斗ニアリ小橋ヨリ二ヶ所共
二前申小川ニ架ス一廿二里三丁斗ニアリ林大
道祖神橋 入理記 小鉢
村ヨリ南ノ方五丁斗ニアリ長鳥川ニ架ス小

橋ナリ

溜ニヶ所

字コレマイ溜ハ村ヨリ一丁斗南ニアリ字トウ
ツケ溜ハ村ヨリ五丁斗西ニアリ共ニ小サキ溜
ナリ

右ニヶ所溜ノ外村裏水ノ小堰田所ノ江筋ニ敷
ケ所アレ氏年々ニ塙所モカハリ仮ニ設リル処
モ考ケレハ悉ク載ス

白山社 社地五間四方 別当 極樂寺

村ノ内ニアリ 祭九月十九日

社 九尺ニ六尺

熊野社

社北東西七
南北三間

別当

極樂寺

村ノ内ニアリ祭九月十九日

社石ノ小祠ナリ

極樂寺

境内東西七十間
南北三十間

村ノ内ニアリ阿弥陀山千手院ト云真言宗ニノ

同國藤原郡坂田村圓滿寺ノ末山ナリ往昔真言

宗ノ僧住シ庵室ニニ後廢セシヲ文応元庚申年

宥秀ト云僧当所ニ未リ真言ノ旧地アル事ヲ聞

テ再建ノ志願ヲ起テ村民斂依シテ宥秀ニカッ

令セ終ニ再建成就シ宥秀ヲ以テ則チ当山ノ開

基トス宥秀ハ何所ノ人ト云事ヲシラズ

客殿 六間三尺ニ十一間萱葺本尊阿弥陀如来

木佛座像長ク二尺八寸

庫裡 五間・十一間萱葺

高照権現母置ス神躰木ノ立像長ク一寸八分圓

形ノ厨司ニ安置ス文応元庚申年開基宥秀一躰

ノ靈像ヲ將來シ一字ノ精舎ヲ建立シ末代ノ衆

生ノ為ニ有縁ノ地ヲ求ム釈尊成道シ五ツ時佛

陀靈驗遺法興繁ノ地ニ於テハ必ズ神影ヲ示ワ

將来ノ指壽
今ニ示ス

三瑞相ヲ示シ玉ノ山地真一ニ天下無双ノ靈
跡ナレニ因テ一字ノ草堂ヲ建立シ三密ノ眞修
ヲコトヒ山地ノ群類ヲ濟度ス于時文応ニ辛酉
年八月宵秀夜々不思候ノ靈夢ヲ蒙リ猶所念不
怠或夜白衣ヲ着セハ神童宿秀ニ告テ曰吾汝ニ
靈驗アラタナヘ尊像ヲ与フント別授ルト見テ
夢覺ム是高照權現本地多羅觀音ナリ宵秀奇異
ノ思ヒヨナシ瞻礼奉教シ奉ハニ感応日々ニア
ラタニヒテ火災ヲ除キ或ハ瘡疹ノ患輕アラニ事
ヲ祈リ或ハ婦人安産又ハ乳汁ノ出シ事ヲ祈念

スルニ必ス其靈驗ヲ得ルト云往古北條ノ毛利
丹後守眼疾ヲ患テ物ヲ見ルトアタハス高照權
現ノ靈驗アル事ヲ傳聞テ至前ニ一七日參籠シ
靈驗ヲ仰リカカニ水教ヲ祈シテ七日ニ滿ハ曉
光明ヲ放テ汝信心丹誠ヲ抽テ祈誓スルニ因テ
今寄特ヲ見スヘシト現ノ如リニ聞テ忽チ兩眼
明ク也又賴瑜ト云フハ僧勸字睡眠ノカニ急ハ
テヲ歎キ新食參籠ノ祈リシテ其後勸字ニ睡キ
テヲ知ス或時高照權現アリニ現ルニ病眼加持
ノ印ヲ賴瑜ニ授テ玉ノ山爾末眼ヲ患テハ者願

心ヲ起シ祈誓スルニ靈驗掲有ニト云ハ靈佛天
竺ニテハ多羅觀音漢土ニテハ悲眼生菩薩我朝
ニテハ高照權現ト仰キ奉リ遠クハ百未ノ佛果
ヲ開キ近クハ現世ノ諸難ヲ拂ヒ至リ靈像ナリ
ト云 縁起ノ天際ナリ
産物
松林 萩 杉 柏 榎 楓 柳 杉 柏 榎 楓 柳 杉 柏 榎 楓 柳
免除地
白山社 熊野社 極楽寺
白山ニ必ス其靈觀ニ對シテ法華經古長壽ノ經ニ

村内ニ 端村 堂 八尺 休 支 頂

本村ヨリ西ノ方一丁斗ニあり村長ハ東西ニ丁
余南北一丁余家敷二十九軒向脊齊ヒカニ入息

橋一ヶ所

本村ノ西端ニあり長ハ九間中九尺長鳥川ニ架ス
三回街道往還ノ橋ニシテ普請ハ北條村立會費
用ハ領主ヨリ手フ

小川橋

村内ニあり長ハ七尺幅ハ六尺山沢ヨリ出ル所ノ

流に架す

久野崎橋

相ノ北端ニアリ長口七間巾一間長鳥川ニ架ス
三回海道往還ノ橋ニテ小嶋北條兩村ニテ豫リ
持ツ普請ノ費用ハ領主ヨリ与フ身代川ニ架ス

井堰

山沢ヨリ出ル水ヲ田所ノ内西峯ニテ堰上テ其
水ヲ耕地ニ灌ケ上云キモ堰ハ至テハ泉出テテ
十ヶレハ尽ク祀ルニ煩ハシケレハ略ス

観音堂

境内八
間四方

村支配

村内ニアリ縁日毎月十八日廿九日

堂一間三尺ニ三間本尊本佛坐像長七寸

免除地

観音堂

小種

本村ヨリ未ノ方一丁斗ニアリ村長口東西二丁
余南北一丁余戸數廿一軒白卷ヒトヒカラス

橋

三ヶ所
本村ト当村ノ間作場道ニ三ヶ所

七尺長三間巾五尺田間上小川ニ架ヌ

十二神社社地東西七間南北六間 村支配

村内ニアリ祭ハ八月廿九日ナリ

社 七尺ニ六尺

地藏堂境内東西五間南北三間 口上

村内ニアリ縁日毎月二十四日

堂 九尺ニ六尺本尊石佛座像長ク七寸

唐土藏堂境内東西五間南北六間

村内ニアリ何シト比キリ力堂モ破壊セ佛像モ

ナシト村社奉りニ示八日二十九日縁日

日字一可院

日ト之ヲ村民參詣ノ北條卿

免除地

十二神社 地藏堂 唐土藏堂

十二板板... 北條... 柏崎陣屋... 廣田村... 四丁北...

北條郷

柏崎陣屋ヨリ辰ノ方二里三十丁ニ下リ村ノ大
カ八九リ一里内外四方ニ跨リテ十一ヶ村ニ命シ
テ北條ト呼家居ナリ十一ヶ村ノ惣名ナリ町方
村ヲ以テ中央トスレハ悉リ町方村ヲ主トシテ
四方ノ道程何斗リト云事ヲ記ス西至東ハ御料
所廣田村ハ三丁手板領武石村ハ一里権谷領小
廣田村ハ三丁西ハ安田村ハ三丁南ハ南條村ハ
四丁北ハ安屋内藏助知行所平井村ハ四丁ナリ

小島村へ八丁斗俵の地界入交詳ナラズ
主ノ次第ハ山瀬村ニ同シ又文龜年中ニ石田備
中大須賀志摩ト云上方ノ宰次長尾乃景ニ仕
出頭タリシカ永正六年上秋頭定園東より打入
為景討負テ越中ノ西濱へ引除シ時石田大須賀
等居心シ乃景ヲ攻ム為景遂ニ叶ハズテ依渡
ニ落行其後乃景方高梨橋應守謀テ石田備中ヲ
討シト云ハ石田備中ニ北條ノ内ヲ為景より授
シト云事北越太平化ニ見ヘク当時ハ頸城川
羽ノ西郡ヨリ桑沼郡ニ掛リ三国海道ニ出ヘ所

ノ馭場ナリ上ハ柏崎へ二里三十丁ノ継下ハ塚
野山へ二里十八丁ノ継場ナリ中間峠ニテ嶮岨
ヲ凌リ難所ナリ宿駅継立何レノ比ヨリ勤メ来
ルト云事不詳

三国峠方村

東西二丁南北五丁三十間戸教九十五軒向脊ニ
トシカラス前ニ云処ノ馭問屋当所ニアリ
高札場一ヶ所
官ヨリ令セラルハ、按條目ヲ掲次新儀ナリ
林ノ北條川出又長ク悪天候亦予ハ外程人

村ノ内ヲ流ルハ巾九尺斗リ深沃川亦尾川枕野入
川ハ三川記ス次出三ツノ川合ハ北條川トナハ

高津橋ニル所

村ノ内ニアリ字土會橋ハ燈籠橋下云其ニ長
ク二間三尺巾六尺ノ板橋ナリ北條川ニ架セテ
三国海道往還ノ橋ニテ普請ノ費用ハ領主ヨリ
下シ年々外小ナキ板橋廿五ヶ所ハ往來ニア
リ共ニ普請ノ費用取領主ヨリ年々敷ケ所ノ水
橋ニテ見ルニ煩シク給費ニ記所云ニテ此
ノ類數上ノ橋三ヶ所ハ二里三十下ノ類ナハ

字岩清水橋ハ長廿六間巾六尺村ノ西端ニアリ
字外城橋ハ長廿五間巾四尺村ノ内ニアリ字取
訪橋ハ長廿五間三尺巾四尺村ノ南端ニアリ
ニ北條川ニ架セテ耕地ノ往來橋ナリ

小板橋

村ノ西下斗ニアリ長廿二間巾三尺ノ板橋ナ
リ北條川ヲ安否内藏助知行所平井村ノ養水ニ
引所ノ小流ニ架ヌ因テ村地内ニアル平井村
ノ豫リ持也
平井村南ニ下斗ニ架セテ赤土ノ

字鹿嶋堰ハ村南二丁斗ニ有テ赤尾川ヲ堰
リ中二間字邑川堰ハ村ノ東十五丁斗ニアリテ
光安川ヲ堰中三間三尺林ハ村ノ東十五丁斗ニ
外ニ小堰セテ所アリト虽モ至テ水ガク又年
ニ因テ場処モ立ラサレハ悉ク記ナク林ハ

溜 九ヶ所

字嘉則溜ハ村ノ東世下斗ニアリ字北南溜ハ村
ノ東三十丁斗ニアリ字朴木田溜是モ村ノ東世
下斗ニアリ共ニ朴木田溜ハ
字雁金溜ハ村ノ東世下斗ニアリ字同ノ上

溜是モ亦村ノ東十五丁斗ニアリ字宮ノ入溜ハ
村ノ西八丁斗ニアリ字清入溜ハ村ノ南七丁斗
ニアリ右九ヶ所ノ溜大ナル物ハ九十五間小ナ
ルモノハ僅ニ二間ナリ悉ク廣狭ヲ不記又深キ
物ハ水底三間ニ及モアリハ養水溜九ヶ所堰ニ
ヶ処共ニ町方ノ地内ニアリト云ハ凡北条村ノ
耕地ニトクノリ之ヲ以テ田所ニ灌リ

十二神社

社地東西世
間南北世間

社家 五十家は三郎

村内ニアリ祭日九月十九日
社 九尺ニ六尺

社家 五十家は三郎

熊野社

社地東西廿五間南北廿二間

社家 寺家 若狹

村内ニアリ祭日三月十五日

社 七尺三六尺

諏訪社

社地東西四間南北二間

社家 新田 上

村内ニアリ祭日七月廿七日

社 小知ナリ

十五堂

境內東西八間南北六間

村支配

村内ニアリ縁日毎日十六日

堂 三間ニ二間

専稱寺

境內東西二百四十間南北五十間

村内ニアリ時宗ニ北条山三堂院ト云元弘

元年未年毛利丹後守大江時元ノ開基時元十二

代ノ孫景廣菰田主馬ニ害セラレ毛利家廢絶ニ

及テ後哀微セシカ諡賢ト云僧享保二箇年再興

乃本山ハ則相州後沢清浄光寺ナリ当山傳來ノ

過去帖ニ毛利氏歴代ヲ載スル事尤ニ記スル如

ニ按ニ過去帖ニアリ必ヨ見レハ毛利家北条

及リ旗下ハナリ上松家越后國ヲ領スルニ

当寺傳來過去帖

丹後守母儀ハ安藝守大膳大夫大江廣元ノ嫡

被局八彼局
局三トシテ局
今元ノマ

女五條局ノ嫡子ナリ
領ヲ讓リ因幡國一ヶ所伊勢備後備前播磨
山庄外ニ當國刈羽郡佐橋庄北条五丁村是悉
リ局ノ御讓ナリ毛利丹後前司守元ト号ス
元祖 大乘院殿 慈阿弥陀佛
元弘元未二月十三日
永和年中毛利宮内少輔入道源弥道幸字是
佛坊
二代木蓮乘院殿 知阿弥陀佛
永和元五月五日

時元ノ嫡子毛利丹後守治良九近大夫將

八代 監十号入

三代 唯心院殿 圓阿弥陀佛

大代 元永元 成二日六日

毛利丹後守治良於伊勢御当家ノ御味方
討死ニ時石田小三郎小傳記四郎始討死

按ハニ於伊勢御当家ノ御味方ト云ハ
ハ幸都將軍家ト云ハ事疑フ可ニト

四代 普廣院殿 寛阿弥陀佛

元永元 五月十二日

丹後守長廣齋石大門輔又子丹殿ト号ス

前安藝守輔廣

十代

最勝院殿 臨阿次陀佛

大永四年十月十四日

丹後守廣春

十代

東光院殿 但阿次陀佛

永正十年十二月十一日

丹後守弥五郎高廣

十代

文國院殿 僧阿次陀佛

天正十七年二月二日

大江景廣 秋田主馬 討

客殿

東西九間三尺南北八間三尺 萱葺本尊阿

按ルニ菽田ニ討シニハ丹後守長國ト
云安藝守カ子也安藝守カ死ノ年ハ
過去帖ニハ大永四年最勝院丹後守廣春
カ死セシハ大永四年最勝院丹後守廣春
安藝守カ死シテハ大永四年最勝院丹後守廣春
サレバハ大永四年最勝院丹後守廣春
孫トナリシカレハ大永四年最勝院丹後守廣春
ハ相違セリカレハ大永四年最勝院丹後守廣春
守トアレハ大永四年最勝院丹後守廣春
後守高廣モ一度モ安藝守廣春トナリシカ
知事又秋田ニ討シテ長國ノ景廣ト云
又秋田主馬ニ討シテ長國ノ景廣ト云
國一討シテ長國ノ景廣ト云
前ニモ事疑フカクハ過去帖ハ後人ノ
作十ニ事疑フカクハ過去帖ハ後人ノ
ハ後ニ事疑フカクハ過去帖ハ後人ノ

陀如未木佛座像長一尺五寸裡一作トアリ自覺大師

庫裡 東西十一間南北四間三尺壹寸

十二權現堂 東西二間南北一間三尺壹寸山ノ鎮

守也

古碑 一基元祖毛利丹後守時元ノ墓碑也

門前 百姓家二軒外ニ織子家六軒アリ

本覺寺

境内東西ニ下庫北ニ下五間

村内ニアリ法華宗ナリ真如山圓身院ト云天文

元年伊豆國玉沢村妙法華寺ノ僧日出吾國弘通

節毛利氏ノ臣廣川一樂ト云者日出ニ歸依シ

我領セハ所ノ地ヲ以テ寺地トシ一字ヲ開基ニ

則三州妙法華寺ノ末山ナリ

客殿 九間三尺ニ五間三尺壹寸本尊宝塔是釈

迦考宝如未木佛座像長一尺七寸四菩薩共ニ

木佛立像長一尺七寸文殊普賢菩薩木佛座像

長一尺不動愛染明王木佛座像長一尺七寸四天

王共ニ木佛立像長一尺七寸三十番神共ニ木

ノ座像長一尺三寸鬼子母神木ノ立像長一尺七寸十

羅刹女木ノ立像長一尺五寸日蓮木佛座像長八寸

庫裡 五間 三尺 四間 萱葺

稻荷社 石 小祠 十有七 当山鎮 復人神 十有七

七百大明神 石 三神 十有七 彫作 十有七 香板 十有七

西方寺 境内 南北 十四間 新寺 十有七 十有七

村内 二ア、淨土 眞宗 十有七 山ヲ 金幹 山ト云 開基

明祐 小云 僧 天文 十九年 信濃 國 井ト云 所 三

寺ヲ 建立 十有七 金幹 山 西方 寺ト云 仁 百 慶長 年

同寺 十有七 所 十有七 移 何人 故ト云 事 詳 十有七 入 束 年

願寺 十有七 末 寺也 十有七 十有七 十有七 十有七

客殿 十有七 十有七 十有七 十有七 阿比 院 如 末 木 佛

立像 長 五 二 尺 一 寸 以 林 十 有 七 十 有 七 十 有 七

庫裡 六 間 三 十 二 間 萱 葺 十 有 七 十 有 七 十 有 七

塔頭 法雲寺 十有七 十有七 十有七 十有七

西雲寺 境内 東西 廿 間 南北 三十五 間

村内 二ア、淨土 宗 十有七 明室 山 念佛 院ト云 開基

八 当 所、古 城 主 毛 利 丹 後 寺 八 代、孫 廣 宗、伯

母 明 室 院 長 祿 元 年、建 立 十有七 南 貞、云、僧 二

飯 依 七 十 住 職、十有七、本 寺、八 同 郡 栢 崎、淨 土

寺 十有七 東、十有七、十有七、十有七、十有七、十有七

若敷 東西七間三尺南北六間三尺萱葺本尊阿
弥陀如来木佛立像長二尺三寸秦澄作云
賜土觀音勢至共二木佛立像長一尺五寸開基
如宝院ノ位牌ヲ安置ス
庫裡 東西凡間南北四間萱葺
門前 百姓家一軒

音廣寺

境內東西二丁
南北五十間

村內ニハ同禪宗ノ山ヲ神興山ト云テ後二年

長尾景虎上州白井双林寺ノ三代ノ僧曇英ニ飯

依ニ春日山ニ一字ヲ建立シ林泉寺ハ林泉寺

越ノ事春日ノ諸書ニ見ハレト云フ
頭城ノ事春日ノ諸書ニ見ハレト云フ
文明年間ニ長尾信濃守能景ノ是立テリ
文十一年三月十三日乃景ノ出頭人照田常陸介
少子黒田和泉寺ニ律年立テ寺ニ心ノ時景虎ノ虎
ノ僧ノ奈ノ心ヲ合セ景虎ヲ掾尾ノ落シ門奉本
在系ノ事慶寺ニ造テ景虎本意ヲ達セシ事アリ
可レ林泉寺ヲ建立セシ年長尾景虎曇英ニ飯依シ
創シテ曇英ヲ開山トセシ真如寺所ノ領主村山
事傳記ノ誤ナラシ明ケシ
在藝寺 北条ノ古城ニ八毛利氏ニテ寺所ニ任ス
心モハ不築山ナリ北条ノ十二ヶ所ニ在リタ
村下ノハ北条ノ村ニ在リ村山氏領也
不知レニハ北条ノ村ニ在リ村山氏領也
ヨリレニハ北条ノ村ニ在リ村山氏領也

北越太平 二見下
利十一代高廣 下養子
討上北越 太平元 長國
氏ヨリ 牟利 弟ノ者ノ子
安聖字ハ毛利氏ノ被官ニ
テ町方ヲ領セシメテ
諸ノ下 関山下 後哀徹
二代ノ孫景廣再興ノ因テ
本山上野國群馬郡白井村
双林寺ナリ 雪山
四代文経ト云僧天文十七年
常會ノ勅許ヲ蒙ル
今ニ勅許帖ヲ傳來ニテ
當寺ナリ 什室トス則
九ニ記ス

勅

神奥山高 擊越州之勝景

普廣寺古 留曹洞之宗門

文経和尚

珠海汲道元之的流 嗣子菴之孤脉

工未度日夏安居冬安居有法兄

歷年朝一人暮一人矣至置躬

於地得奉於禁庭特賜月

照位光禪師

天文十七年六月十六日

客殿十三間ニ九間本尊釈迦如來木佛座像長
々二尺二寸版土文珠普賢具ニ木佛坐像長々一
尺

庫裡十三間ニ六間三尺量葺

衆寮十間ニ五間板葺

経藏三間三尺ニ三間板葺

境内山林ノ内ニ西国三十三所觀音堂アリ今大

破ニ因テ経藏ニ觀音ノ像ヲ安置ス

什物較上枚景勝ノ書簡アリ尤ニ記ス

為江島山寺物一

并一石ノ移移

活快然ノ多由

事ヲ持テ去リ申之條

不能申ルル上ノ條

上ノ寺殿成

以前ニ之不取



極日吾

系晴



善廣寺 法流

八幡宮 社九尺二六尺

曾休權現 社九尺二六尺往昔齋石殿ノ靈トテ

八石山ノ頂ヨリ夜々光物出ハ因ニ齋石殿ヲ雷

休權現ト崇ニヨリ光リ物ノ妖止シト云ハ齋石
 殿ト云フハ毛利大萬助トテ剛勇ノ人ナリシヲ
 毛利丹後守吾手ニ属セニ事ヲ計レ氏隨ハ入詮方
 ナリ丹後守我々ヲ大萬助ニ嫁シ或時誘ヒヨセ
 テ饗シ瓜呂ニ入禁教シケルト云其靈雷電トナ
 リ崇リナシ北条ノ城中總ナラシ時ニ當寺四代
 文証ト云僧ノ加持ノ功徳ニ因テ惡靈鎮マリケ
 レハ則當山鎮獲ノ神トナセリ 按ニ當村専称寺
 氏ノ四代善廣院丹後守長廣ノ齋石大門輔トモ
 利又平井殿ト号セシトアリ曾休權現ハ門ト
 利大万助トアリト人ニテ五音扁スレハ門ト
 百ト後人誤リ傳ヘシナハハシ其証ハ大万助モ

本氏ヲ考リ書シナリ一城主十二代ノ孫北条丹
後守長國ハ安藝守ト申者ノ子ニテ 事晉廣寺ノ
同基村山女キ字ノ下ニ按 武勇勝トテ武也ノ場
ハニト書リハ如ト可見也
教甚多シ豫信ノ先年ニ有テ度々ノ功ヲ顕ハシ
豫信ヲモトキニ程ノ者ナリシ指物白銀一幅ト
小ハ半ニ黒キ六寸ノ熊蟻ヲ紋ニ付ナシタリシ
ナ餘リ小ナリトテ豫信見テ答ニ中長國申ケハ
ハ三幅掛ハ幅掛ニ大紋ヲ画ナリハ指物ハ敵陣
ハ能見セニ為ナリ然レハ我等指物ハ餘ノ大ナ
ハ指物ヨリハ能リ見ヘ可申子細ハ何時ニ敵前

近ッ乗侯程ニト申シケレハ豫信機嫌ヨカリシ
トナリ景勝三郎景虎ト跡目論ノ時景虎ニ一味
ニテ赤田宗兵エト云 後赤田主馬ト云テ茲モノ
ニ鎗ヲケテテ乗マケテ城ヘ飯リシカ氏終ニハ
手和ニテ果シトナリ一^ハ時北条ノ家断絶セシカ
ハ遂ニ城ヲ廢セシト見ヘタリ

農夫 伴八郎

伴八郎ハ当取ノ向屋ナリ元来上松家ノ臣ナリ
シハ何レノ比ヨリ欣零落シテ農夫トナリ又シ
ツ当村ニ住ナリト云 撰ニ晉光寺ヲ同基セシ村
山女キ字ト云者ハ伴八

熊野社 諏訪社 専修寺 本寛寺

西方寺 西雲寺 普廣寺 十五堂

産物

殿 約脊 暑預 松 枚 以産物ハ所方村ノ

ニ限ラズ北条一村ノ産物也

家別村

所方村ヨリ辰ノ方二十四下ニアリ東西一丁南

北四十間戸敷二十軒向脊ヒトシ

東大半白山社社北東西五間村支配長意

村ノ内ニアリ祭日ハ九月九日本社六當時廢

セリ一

免除地

白山社

笹川村

所方村ヨリ辰ノ方廿下ニアリ東西五十五間南

北四十間戸敷十三軒向脊ヒトシ

上光安村

所方村ヨリ辰ノ方廿一丁ニアリ東西三十間南

北一丁戸数十八軒向脊ヒトシカ
三十四間

佐野入川

村ノ内ヲ流ル水源ハ村地内ノ山谷ヨリ出是ノ
小流ナリ所方村東端ニテ此条川ニ落ル佐野入
ト云ハ耕地ノ字ナルカ其所ヲ流ルレハ川内各
トス

白山山下^{シモ}光安^{ヤス}村

所方村ヨリ辰ノ方セ一丁ニアリ東西四十七間
南北一丁戸数十九軒向脊ヒトシカラシ

林和^{カネ}兼^{ノリ}則^{ノリ}村北ノ高キ山ニテ此懸人交ナ

所方村ヨリ辰ノ方セ五丁ニアリ東西四十間
南北五十五間戸数十二軒向脊ヒトシカラシ

深沢村

所方村ヨリ辰ノ方一丁ニアリ東西一丁三十間
南北一丁戸数四十一軒向脊ヒトシカラシ

深沢川

村ノ内ヲ流ル水源ハ村ヨリ未申林内各

出へ川幅廣秋ニ下リ加下乃所方村々南端ヨリ流
レテ北条川ニ合

カトナセ川

深沢川ノ合流ニテ養水ニ用ヘ所ノ小川ナリ

赤尾村

所方村ヨリ午ノ方八丁ニアリ東西一丁南北二

丁三十間戸數四十軒向脊ヒトカニナリ

西ノ方八石山ハヤコリニテ東ニ四十間

村ノ東ニアリヨボトノ高キ山ニテ他領入交ナ

リ柏崎付内地ハ西北ニ向ヘ山ノ一尾ノミナ

リ土人ノ口碑ニ曰山膏肥ナル地ナレハ古ヘ寂

ク植ケリコニ繁茂ニテ大樹ノ如クナリシヲ專

称寺ノ梁ニセシト云又変ノ多リ結ビタリシニ

或時大爪枝ヲ吹折ハルカニ飛ニニ落ケル所ノ

豆八石アリシユヘニ山ノ名トセシト云氏是ハ

俗説ニテ山ノ數峰村建リタル中ニ谷ノ數ハ

ワアルユヘニ八谷ト唱ヒシヲ八石ノ文字ト書

誤リシト云頂ニ城蹟アリ毛利大万助ト云人

ノ住セシ城跡ト云テ其地ハ他領ノレハ申緒ヲ

採録ヤス山ノ禁ニ七ヶ村アリ是ヨ善根七村
云悉ク御料所ナリ

赤尾川

村ノ内ヨ流ル水浮ト村ヨリ南ノ方ト山ヨリ出
ル川巾廣狭ヒトシカラヌ町方村ノ中ニテ北条
川ニ合ス

愛宕社

社地東西一丁三十三間
南北四十間

社家 五十嵐甚三郎

村ノ内ニアリ天文十三卯年毛利原五郎高廣ノ
勸請ナリ前々ハ祭六月十八日ヨリ廿六日迄ニ

テ其間ニ七日ノ市立テ近郷ノ人集リシカ今中
絶シテ市モナリ祭モ六月二十四日ニ執行スル
ノミナリ故ニ今ニ社地ノ中ニ市場ト云傳フハ
所アリ

社 二間ニ九尺

白山社

社地二
間四方

村支配

村ノ内ニアリ祭ハ三月廿二日社今廢セリ

熊野社

社地東西五間
南北三間

口上

村ノ内ニアリ祭ハ三月十六日社今廢セリ

観音堂

境内東西十一間
南北十二間

口上

村ノ内ニアリ録日毎月十八日
堂四間ニ二間三尺

免除地
大正三箇
大正四箇
大正五箇
大正六箇
大正七箇
大正八箇
大正九箇
大正十箇

愛宕 白山社 熊野社 観音堂

鹿島村

所方村ヨリ去ノ方二丁ニアリ東西一丁南北五
十間戸敷十四軒向脊七トシカニ
御嶋石部神社社地東西九間
社家五丁若狭中

村ノ内ニアリ式内三島郡七社ノ其一也
郡ヲ裂テ神躰ハ武甕槌命ニノ別鹿島大明神ト
置所ナリ神躰ハ武甕槌命ニノ別鹿島大明神ト
リテレハ土人御嶋石部神社鹿島大明神ト云当
社ニ傳ハ処ノ縁起其文松ケレ氏年代ノ古キニ
因テ今其マ、カニ記ス
抑当社大明神ハ地ニ鎮座シ五丁丁音神代ノ時
皇命ヲ嘗リ逸免神天ノ下ニハビコリ有テ悉ク
平々当所ニ来リ神世ト云人ニ宣ハク是ヨリ東
北ノ奥ニ王法ヲ妨テ天下國家ヲ乱シ万民ヲ苦
セムハ魔賊アリ猶ハ未時代ニ起ルハ

神皇ノ詔ヲウケ奉ル人ナリ
レ四方位ニテ織水ヲ不受
一ノ大石現ト大魔押留
一石ノ也ニ令造陣社ヲ
表門トシ玉城ヲ守護シ
武甕槌ノ神ナリト告玉
先飯ニ本ヲタハナ草本
散テ神慮ノ御坐ト定メ
之宮柱ヲホリ立基ヲキ
造リ川ニ入ルニ其後白
神皇ノ詔ヲウケ奉ル人ナリ
レ四方位ニテ織水ヲ不受
一ノ大石現ト大魔押留
一石ノ也ニ令造陣社ヲ
表門トシ玉城ヲ守護シ
武甕槌ノ神ナリト告玉
先飯ニ本ヲタハナ草本
散テ神慮ノ御坐ト定メ
之宮柱ヲホリ立基ヲキ
造リ川ニ入ルニ其後白

明ホ人甚志厚リ
拜ニ度ト常々希シニ天智二年
社参シ平生心ニ絶サレハカ
有ケハニイワ睡ルトナリ
ニ入リハ心地ニメ有ケハ
カト次奉ハト是ハハ雲霧
ノ奥ニイワリヒクサナハ
垂ヲ目ト筋ヲモリセ金色
高ニカニ汝常ニ心ヲル
明ホ人甚志厚リ
拜ニ度ト常々希シニ天智二年
社参シ平生心ニ絶サレハカ
有ケハニイワ睡ルトナリ
ニ入リハ心地ニメ有ケハ
カト次奉ハト是ハハ雲霧
ノ奥ニイワリヒクサナハ
垂ヲ目ト筋ヲモリセ金色
高ニカニ汝常ニ心ヲル

進
文

島森ニ住テ悉ク諸魔ヲ追ハフス今ハ人倫ニ添
テ神カヲ加テ吾名ノ下ラニ限リト天下國土ヲ
惠メ御内安綿ニ守リ汝吾ヲ拜スレトテ勤年思
フニ因テ今告知シムルニテテテテテテテテテ
汝若モ未世ニ残リホリテ孫栄久ナリ百歳スレ
ト有ト思フハ夢ナリト心地ハ神前ナリテ現
深リ身ニシミワタリ汝片時モ怠ルヲテテテテ
ヤレトナリトテテテテテテテテテテテテテテ
又古傳ニ云何ヲ御内ニ堅勤起ルトテテテテ
鹿島社鳴ワタリ柏火飛廻リ民ニ見エハ事度

五
七

カナリ又或時ハ当社内ヨリ光リ十方ニ見エ
リル事アリ是皆衆民ヲ憐ミ玉フ故ニヤ遠近
ノ人甚ダタワトミ御嶋ト云
又御石部神々崇メ御鹿島氏云石ヲクワトシ
テ御要石ト云如ク万民ヲ守リ玉フ御神故ニ
雪郡初見ノ神社ト則延喜式内ニ御嶋石部神
社ト載リ玉フト申ス又御神終ハ申ニ及トス
当社ニ數多御神ノ籠ラセ玉フ所ナレハ尤モ
大切ニ未クニ至ハマテ心ヲワケハレ不淨ニ
立テ不可参ナリ

載
テ
今
ス
ミ

録ヲキノ文置キ
五ノナリ今ノナリ

石平ノ下ノ文
厚キナリ

又吐レ傳ニ昔北東ノ間魔賊起リし事アリ高
見山ト云山ト当社大明神上リ五ノ諸神達ヲ
集メ神幣ヲ揃玉フ時ト山ヲ八セキ山ト名付
神ホコヲ立玉フ所ニテ今ノ所ト云フ
鳥帽子ヲシカトカアリ玉フ所ヲ今正ホシワ
子ト云陣鎌ヲキ玉フ場所ヲカマハゲト云フ
今ニ鎌ノ形ニ草木生出又峰モトニマハリ
キイリ深カナリ池アリ
ヨナノ池トモ申ス又リキ人池云ト山ノ
禁ハ神ノ倉ニテ峯ノ下ニ石平今ニ平大平



武名ノ家
今ノナリ

宮平神竈リ何レモ悉クイハレアリ記スモ筆
ニ及ハスコレヲ略ス山名ヲ云逢ニ八石山ト
衆民申ナリ往古神々ノ陣取玉フ所故ニイマ
夕草木ノ生景色常ノ山トハ逢ニ末世マラモ
其ルルシアハ事神愛也
貞治元年春二月日 五位神主 三輪吉安
当家社職ノ事北条ト申ス村名モナキ比ヨリ当
社ヲ守奉リ地頭職若ニ兼彼是五石三石ワ、集
メ僅ク三百余石アリ其後段々乱セニナリ武名
ニ掠テ今ハ輕キ社職トナリ近氏下社人教ヲ

あり牛五等ヲ賦リ居ケル氏過キカ子蒲原也一
 行ヒモアリ佐渡國へ行モリモアリ免角上下静
 中ナラハ放ナリ今ハ定リタヘ下社人モナリ
 往正算社ト申テモ今ハ廿六ノハ事ナリ候イ
 マノ神子等モ數多アリ籍石ノ注連ト申ス所
 持致シ注連頭ト申ス神子ナレコシラヘシト事
 社ニ限リテハ事也
 康亨禄元 庚子年秋 〇〇〇〇 〇〇〇〇
 〇〇〇〇十一月廿辰 〇〇〇〇 〇〇〇〇
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

当社棟札之寫

〇國安ノ間家ノ字ヲ改メテ今ノ原文ナリ

波瀾世界南瞻浮洲大皇國依 王生及力陸道流我後國千茅山末河郡佐橋庄

北條郷則鹿島村 桑田匠九ノ端住人

元 元

奉御鳴石部神社鹿島大明神宮造 曆年奉天下太平國安靜現世盛專後生善慶

神主惣護大夫教白

以郡村助力令造之成就軍佐橋庄惣氏人息災安穩自家七難即滅七福即生

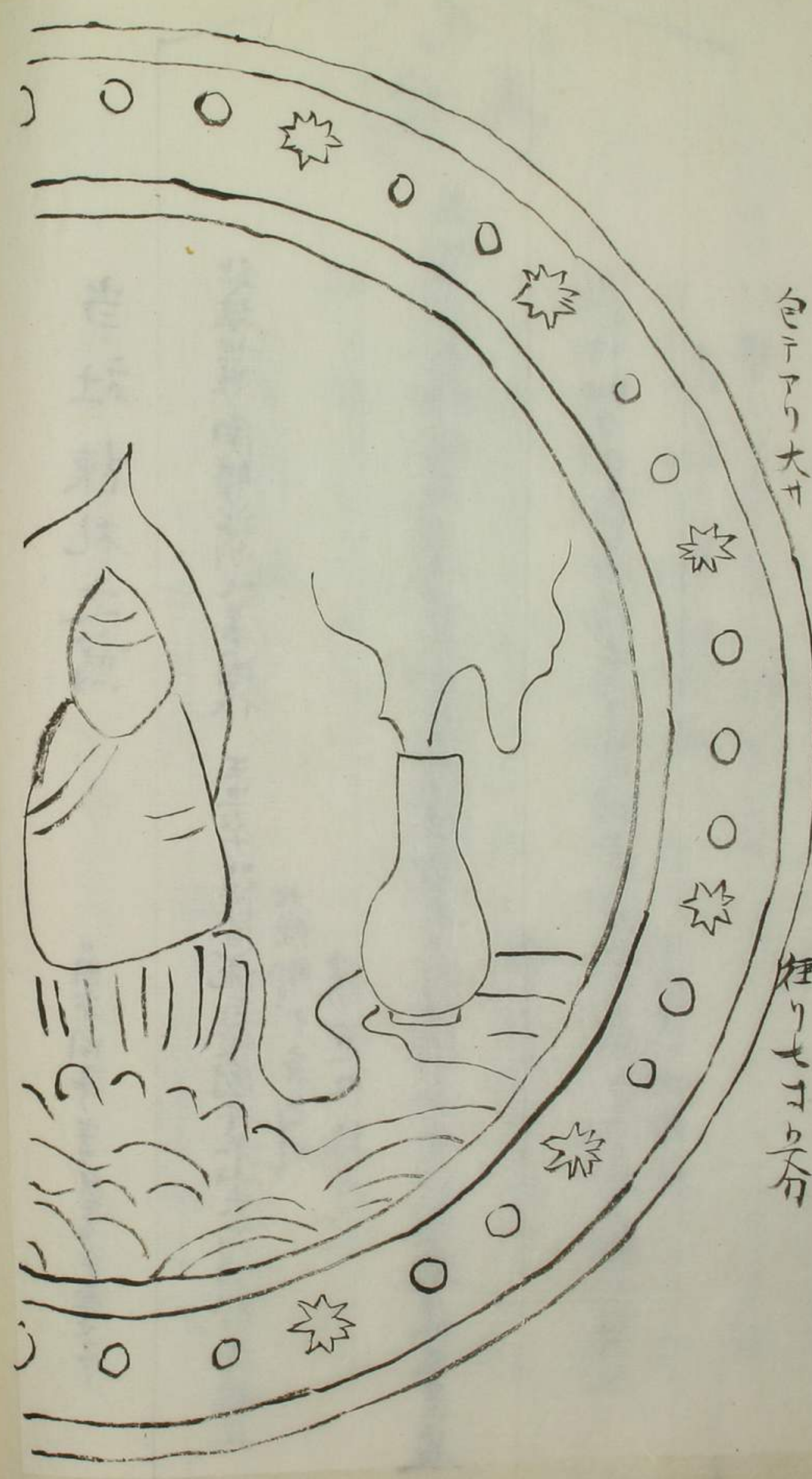
二世系地成就

于時天正十三年乙酉閏八月七日

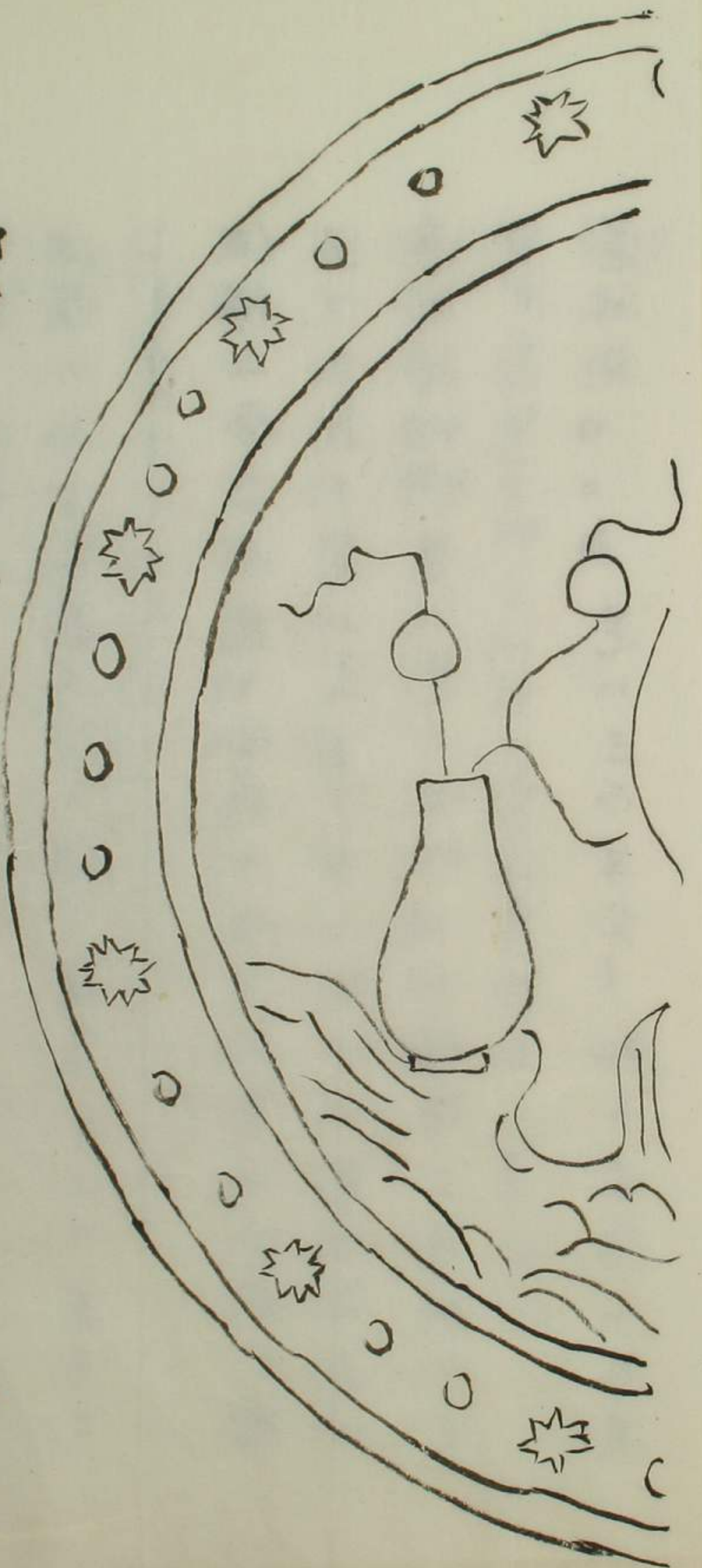
竪 二尺五寸二分 横 一尺七分

当社ニ納メ所ノ神佛ノ像共社藏ノ宝物元ニ記ス

佛像一面全圖を記す但し銅ノ薄板ニテ檀ノ板ヲ
 包テアリ大ヤ
 在リ七ノ尺有



此裡ニ康平六年源義家帰陣ノ文字ヲ入り見エ
 以外数字アリ此年代古ク不詳
 佛像一面全圖ニ同じモノナリ裡ニ千眼観音



薩忘永十六巳丑六月日ト文字ウズク見エト外
 教子アシ氏不詳是ハ北条ノ毛利家ヨリ寄附セ
 物ト云傳フ

佛像一面全蓋前ニ曰シ禪ニ文字アシ氏是古ク
 此テ見ワケカクシ

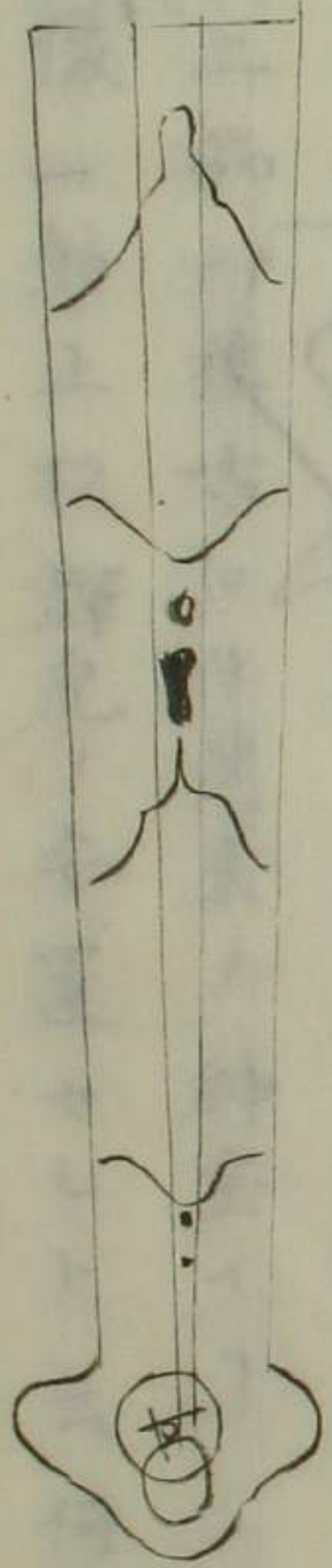
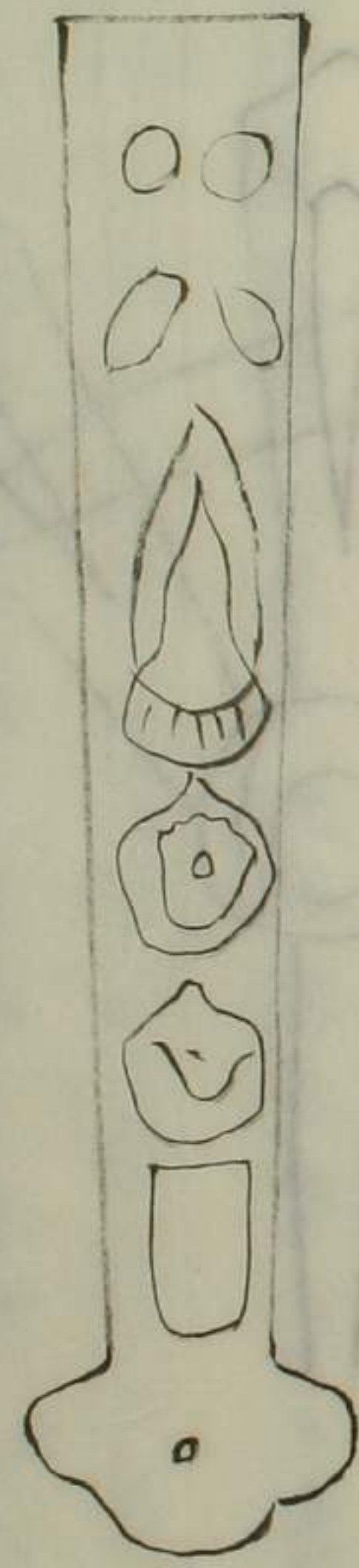
佛像一面全因是モ亦前ニ曰シ只異十八所ハ
 金ナリ禪ニ是ハ文字アリシ物ハ見入

道祖神如神是ハ是ノ古物ニテ朽損シ神躰モ見
 分アタシ

道祖神一日ニ神是ハ三百年余ノ物ト云傳レ氏具

故不詳

神像ニ躰是古物ニ何神ノ像ト云事詳房リカリシ
 不勤尊像佛ト云傳レ氏像者不詳
 矢立形ノ扇ノ如シ表ノ方上ニ日月花籠佛像師
 子頭ニワ具下ニ墨入アリカニ蓋ヲ記入



蓋也

内少輔教神宇祖再三修造畢然有時既及大破我
今其苗裔三子如狸茲因祖再情仰其慮謹奉造宮
者也 奉造宮始於大和朝之定也

天文十九年庚戌六月五日再修造了了之
北條十一代孫葉毛利丹後守為廣判

造宮奉行

大二棟梁

十五堂

村ノ内高下ノ縁日毎月十日也又
堂今廢セリ二卦古E() 核堂ノ云辭

村支配

免除地

所鳴石部神社

諏訪社

十五堂

十日市村

所方村ヨリ西ノ方二丁ニアリ東西五十間南北
一丁戸敷十七軒向脊ヒトシカラス

八幡宮

社地東西十二間
南北九間

社家 五十六甚三郎

村ノ西端ニ下リ祭日八月十五日当社ハ永承元
丙戌年毛利丹後守ノ貞廣守藝園ヨリ与國轉入

其時勸請ト云本社ヨリ直成ノ方社地ノ内ニ
清水ノ湧出ハ処別当社ノ御手洗ニテ山清水ア
ル故ニ石井八幡宮ト云往古ハ八月六日ヨリ十
五日マテ神祭執行其間土民ノ為ニ市ヲ立ク因
テ村ノ名ヲモ十日市ト云又ハ市ヲ放生会市ト
云クハ由土人ノ云傳ヘ処ナリ毛利家北条落城
ノ後衰微シテ終ニ山市モ絶タリト云又社頭ニ
警言固場ト云字アリ是ハ市ノ前領主ヨリ警言固
置シ所ト云云
社四間三尺三寸四間南向首尊

正八幡宮

社地東西十間南北十間

社家 尾岡山城

村ノ内ニアリ祭日八月十五日

社ハ二間三尺ニ二間棟札アリ凡ニ記心如し

夫当社正八幡宮神靈者先祖大江朝臣廣元公
爵建立宝殿安置神靈矣其後永和中毛利宮
内少輔沙弥道幸教神守祖再修造軍然有特而
既及大破廣元公以降屈指考之三百有年也予
亦其苗裔而不可不加修理因茲抽丹精仰冥慮
謹奉造言者也

北条十一代孫葉毛利弥五郎大江高廣判

天文十年竜集庚戌八月五日
 旗者流天文三年奉納物
 辨財天社末社
 近八幡宮
 休
 今熊村

町方村ヨリ西ノ方十五丁ニアリ東西五十間南
 北一丁戸數二十四軒向背ヒトシカラス

金剛院

村ノ内ニアリ元来農夫ヲリシカ宣永年中ニ山
 伏トナリ曰郡釵村ノ修験天正院ニ隨身シ教宇
 正院ヲ觶頭トス当山泓ノ修験ナリ
 本尊不動尊木佛立像長ケ一尺六寸

導師堂

村ノ内ニアリ録日毎月八日

境内東西四間
 南北三間

村支配

城郡ノ菅系ノ社社云々ヨリ遷入ハナリ後大破
ニ及ニテ文明四年長尾左工門景信昌賢ハ云
長尾四郎長尾左工門景信ノ子ヲ修理シ田畑神
具等寄附セテハ後南條駿河守ニ奉教シテ寄附
身アリシトナリ空日八日廿五日
本社 一間三尺二間
拜殿 二間三尺二間

神室

本像五軀三寸或ハ四寸余ノ物古来ヨリ何ハ如
ナリ何ノ像ト云フ詳ナラズ又此中本ノ唐銅

薄キ金ヲ付鏡ノ如キモノニ像ヲ留ムルト云ハ
氏詳ナラズ北條村河嶋石部神社ノ神室ニ留ム
ル物ト云ヒモナリ

正雲寺

境内東西廿二間
南北二十間

村ノ西端ニナリ曹洞宗ニテ神宮山ト云フ北條
村音廣寺ノ末山ナリ同基ハ永祿五年音廣寺ノ
人母知高ノ開基ニテ南條駿河守ノ菩提所ナリ
之ニ其後暫ク大破ニ及フ音廣寺ノ芳秀知高ト
云僧延宝八年再造ス
客數 五間五尺ニ八間音廣寺本尊聖觀世音本

佛坐像長八寸
長九寸三
躬丈行基一
作

庫裡 四間 三尺 六間 三尺 置葺

十五堂 二間 二間 三尺 本尊地藏木佛立像長

一尺三寸二分 十五木人坐像長一尺五寸五分

錄日九月十二日

免除地

天滿宮 正雲寺 十王堂

五間 正雲寺 正雲寺 十王堂 正雲寺 十王堂 正雲寺 十王堂

